

第68回 日経広告賞

NIKKEI ADVERTISING AWARDS 2019

第68回 日経広告賞の主な受賞作品を紹介しています。

商社・エネルギー・公共部門 最優秀賞 丸紅



丸紅が2018年6月に定めた企業の「在り姿」グローバル・クロスバリュー・プラットフォームを体现した3つの事業事例を紹介するシリーズ広告。制作では「現場の躍動感を意識しながら表現した」（島崎氏）。第1弾広告のボディーコピーの一部を引き継ぎ、文末を同じ文章で構成してシリーズに統一感を出した。「印象的なフレームとデザインで記憶に残る」「実際の現場写真が使用され、非常にインパクトがあった」など社内外から好意的な反響が数多く届いた。



丸紅 執行役員
秘書部長
広報部長
島崎 豊氏

2019年3月18日付 日本経済新聞 朝刊 全15段・カラー

自動車・運輸・輸送部門 最優秀賞 日本貨物鉄道（JR貨物）



4月から掲げるJR貨物グループの新しい理念やブランドメッセージを注ぎ込んだ企業広告「個性があり引き付ける」と評された。一般の人が普段目にするものない駅構内をロケ地を選び、日ごろの姿をそのままライブ感を持って実直に見せた。掲載後の社内外の反響は予想以上。この広告自体がブランドメッセージにうたう、挑戦と変革そのもの。当社グループが変わる姿、変わろうとしている姿勢を、本賞受賞によりさらに広く認知してもらえたい」（東城氏）



日本貨物鉄道（JR貨物）
経営統括本部人事総務部
プランニンググループ
グループリーダー
東城 暢毅氏

2019年9月17日付 日本経済新聞 朝刊 全30段・カラー